

令和4年度京丹波町総合教育会議 議事録

1 開催日時 令和5年2月24日(金)

開会：午後1時45分 閉会：午後3時30分

2 開催場所 京丹波町役場 211・212会議室

3 構成員出席者 6名

畠中源一町長 松本和久教育長 片山幸男教育長職務代理者

津田勝二委員 谷文絵委員 金子和子委員 山根里香委員

4 事務局出席者 6名

田中総務課長 堂本教育次長 村田社会教育課長 宇野学校教育課長

田端学校指導主事

辻総務課主事

5 傍聴者 1名

6 会議の概要

(開会：午後1時45分)

○開会

畠中町長挨拶

○協議事項

(1) 令和4年度における京丹波町教育の重点的施策の取組について

・京丹波町教育の重点的施策の取組について、事務局から説明。

【事務局】ただいま、令和4年度における京丹波町教育の重点的施策の取組につきまして、ご説明をいただきましたが、このことについて、ご質問等がございましたら、よろしくお願ひします。

【教育長】学校教育課、社会教育課から令和4年度の重点的取組を公表させていただきましたが、今年度は町長のまちづくりのスタートアップの年、当初の想定よりも事業を展開でき、手ごたえを感じている。

【町 長】教育現場において、今年1年目に見えた進捗があった。非常に頑張ってもらった。一方で、不登校の子どもたちが国に比べて倍以上の割合である。大きな課題と考えるがどうか。

【教育長】今年度の重点課題の一つとして、不登校生徒への対応がある。小学校については、ようやく方向性が見え改善ができた。小学校の現状は令和2年に比べ半減しており、小学校が減少すると順次中学校も減少をすると見込まれる。この1年、極めて大きな課題であったが、改善の目処がたってきた。

【町 長】不登校生徒は学校に興味関心が無くなったということか。その要因はどうか。

【教育長】コロナの影響も大きいと考える。

【指導主事】不登校の理由は様々。学校での人間関係、無気力感、勉強の遅れ、学校になじめない、家庭環境、経済的問題、健康面の問題、生徒の特性等、ケースに応じて、その生徒にとって一番良い手立てを考えつつ対応することが必要だと考えている。

【町 長】教育長から改善の兆しが見えかけたと思ったが、どういった分析をしているか。

【指導主事】数値的なことのほか、学校の取組をホームページで紹介したもの、学校だよりの様子を見てみると、学校で何かやっという機運、また、参加していこうという児童・生徒たちの思いが出てきたように思う。

【町 長】探究型教育の成果と捉えてよいのか。

【指導主事】非認知能力の一つである児童・生徒の意欲が大きくなってきていると考える。

【町 長】少しでも教育効果が出ているなら、ありがたく思う。これまでの取組を素晴らしいと思う。

【指導主事】家庭等、学校だけでは解決できない部分がある。関係機関が連携していくことが次のステップであると考えます。

【町 長】家庭環境は個別のケースがあるものと考えますが、それを超越して「学校って楽しいな」と思ってくれたら、登校に繋がっていくと考える。

【事務局】発表会や部活動等、不登校の生徒が参加くれるようになってきた。学校に行く楽しみ、意義を見つけられないかということを、各学校において取り組んでいただいている。

【町 長】うれしい報告である。一人でも二人でも登校してくれているならば素晴らしいことである。楽しい機会、達成感を見つけてあげることは一つの大きな教育の原点である。先生方が一生懸命取り組んでいただいているからこそその成果であり、賞賛に値するものである。

【委員】不登校の生徒は、学校自体が嫌いということもあるが、私の周りのお子さんでは家庭環境の理由で登校できていない子がいる。そういった子でも別のクラスに登校出来たり、放課後みんなが帰ってから登校したりと、子どもなりの努力をしている。

どのラインをもって不登校とされているのか分からないが、体育祭だけ出る子もいるので、まったく学校に興味がないわけではない。

(2) 京丹波町立小中学校における地域に根ざした探究的な学びの取組について

・地域に根ざした探究的な学びの取組について、丹波ひかり小学校日下部校長及び蒲生野中学校谷口校長から説明。

【事務局】ただいま、地域に根ざした探究的学びの取組について説明をいただきましたが、ご質問等がございましたら、よろしくお願いします。

【委員】丹波ひかり小学校の京丹波検定ですが、子どもたちが作ったものか。

【丹波ひかり小学校長】教師も含め学校をあげて作っているものだと認識している。

【委員】一住民として興味があるので、色々な場面で活用をしていただきたい。

【町長】お話を聞かせていただいて感動した。多くの気付きがあり、児童・生徒は幸せだと思う。私自身も参加したい。登山、カヌー、キャンプファイヤーと、これだけ広い体験ができるまちは少ないと思う。自然運動公園もあり素晴らしい体験ができる。「足下を照らす」ことが非常に大事だということがよく分かった。今年、須知高校の応募者が非常に多かったというのは、谷口校長のお話でよく分かった。須知高校の歴史の教育は素晴らしいものである。生徒も目を輝かせて聞いていたに違いないと思う。町民大学でも歴史のことになると参加者が多い。役場の職員を活用いただきありがたい。もっと活用してもらいたい。職員も先生になることで勉強になると思う。役場のやっている仕事を子どもたちにもっと理解してもらいたい思いもある。

【委員】中学生が学ばれた地元の農業のこと等を、町民大学で中学生から発表してもらうのも面白いのでは。住民の方にも還元してもらえたらよい繋がりになるのではないか。

【教育長】議会一般質問でもそのことが出されている。小学生、中学生、須知高校生が学んだことを町民の皆さんに発信する場として、町民大学を活用していこうということは充分検討に値するものと考えている。

【委員】お話を聞かせていただいて、小中学校で素晴らしい取組みをしていただいていることがよく分かった。その裏には、学校としての考え方がきちんとあって、それに基づいて、担任の先生、子どもたちが活動、学習していることがよく分かった。広がりという面で、他の小中学校ではどのような取組みをされているか。

【教育長】毎月、校長会議で「わが校の取組み」ということで情報発信をしてもらっている。日下部校長の話の内容を他の小学校でも、同様の視点で、令和5年度に実施してもらおうと、校長間の中で情報連携を図っている。中学校の取組みは瑞穂中学、和知中学ともに同じ内容で実施していただいている。基本的な考え方、まちの良さに気づいて、その中から探究的な学びをしようということでベースは統一されている。各学校間で連携が進んでいる。お互い学ぶことによって、学校の取組みもそれぞれバージョンア

ップしていくものと期待している。

【事務局】本会議について、コロナの関係で令和4年度はこの時期に第1回の開催としているが、令和5年度につきましては、年度当初に第1回をさせていただいて、令和5年度の取組みたい狙いに関して紹介させていただきたい。この時期に振り返りをお世話になりたいと考える。

【委員】町内の施設や自然を生かした取組み、そうであってほしいと思っていたことが実施をされていて、そしてそれらが生かされており、とても良いと感じた。自分自身を含め、住民の方でも知らないことを知れたら自信や誇りになり、それぞれが教える立場になって、良い効果が広がっていくのかなと感じた。

【委員】ひかり小学校のスライドを見て感動した。息子を通わせていただいて、長女もお世話になるが、安心して預けさせてもらえる。中学生では探究学習でレベルが上がるが、子どもの成長を非常に楽しみに思う。

【委員】外から見られないことが深く知れた。須知高校の資料館を有効に活用できないだろうと感じた。地域の行事で京丹波検定を活用できたら面白いかなと感じた。これからの活動も期待をしています。

【町長】探究学習について、当町には素材がたくさんあり、アプローチの仕方でやり方がたくさんあると思う。この学習が、国語、数学等の基礎科目の学習意欲に繋がっているのか伺う。

【丹波ひかり小学校長】学んだことが答えのない学習に臨んだり、フリーな課題に対して生かされる。自分なりに発見したり興味を持ったことは常に教科と繋がっている。教科の科目が実際の社会と結びついていることがわかってくると、学習自体の面白さを感じてくる。また、他者と繋がる力、自分を高める力、いわゆる非認知能力の向上に役立つと言われている。

【町長】近年子どもたちの観察能力が低下していると言われている。分析能力等の向上に役立つ学習だと考える。

【蒲生野中学校長】教科の学習に探究的にな学びが深まってくると、生徒の主体的な学習にエンジンがかかっていくと考える。社会科の実践事例は非常に貴重で、他の教科にも応用できると考える。

【教育長】本日は探究的な学習の学校側の狙いを聞いていただいた。この会議の後、「ジュニア世代の学びと提案」として、生徒側の発表を聞いていただく。京丹波町の良さを生かした京丹波町ならではの教育を今後も続けていきたいと考えている。

【事務局】それでは、これを持ちまして、協議事項を終了いたします。閉会に際しまして、松本教育長からごあいさつをいただきます。

○閉会

松本教育長挨拶

〈閉会：午後3時30分〉